

「脱炭素」とはどういう意味？



脱炭素とは、二酸化炭素（CO₂）排出量をゼロにすることです。実質的に二酸化炭素の排出量がゼロになった社会は「脱炭素社会」と呼ばれます。脱炭素が世界的に注目される理由として、二酸化炭素の増加が地球の環境に悪影響を及ぼすことがあげられます。例えば、海面上昇の主な原因は、海水の温度上昇（地球温暖化）による膨張と、氷河・氷床の融解とされます。島国である日本も、地球温暖化の悪影響を受けることが予想され、生態系への影響も懸念されます。日本も含む世界中の人々が、より深刻な事態に向かうのを防ぐためには、脱炭素社会を可能な限り早期に実現することが求められます。

日本 BCP による脱炭素の取り組み



① バイオディーゼル販売
植物由来の食用油や、使用済みの食用油（廃食用油）を、ディーゼルエンジンで利用できるようにした燃料です。



② 燃料リサイクル
通常廃油になってしまう燃料を買取り、ろ過などにより品確法をクリアした燃料を需要家に向けて再販を行っております。



③ 燃料リフレッシュ
備蓄燃料をろ過することで、燃料の延命措置を行い、廃棄を減らします。



病院 BCP 訓練のご支援をさせていただきました

昨年度、弊社にて BCP 策定をご支援させていただきました病院様で今年度 1 回目の BCP 訓練を開催しました。第 1 回目ということもあり、病院 BCP の概略を再度責任者の方にご説明をするとともに、災害時、最初の動きとなる院内外の被害状況の確認方法について、ワークショップ形式で訓練を行いました。休日にも関わらずたくさんの方にお集まりいただき、訓練時も全員が積極的にご参加いただいている姿が印象的でした。今後も、活きた BCP になるお手伝いを、継続して行ってまいります。

専門家に聞く

- ご存じのように、世界中で電気で動く自動車が増えてきました。このため、ガソリンスタンドの数も減り、原油を精製する製油所も統廃合が進んでいます。そして、航空機の燃料が国内で不足するなど、様々な問題が生じています。しかし、災害時の非常用発電に限らず、燃料が必要となるケースはまだ存在します。本通信で紹介された、環境にやさしいバイオ燃料の普及、燃料の有効活用・リサイクルなどは、専門的な知識がなければ円滑に実施することは困難です。化石燃料を取り巻く環境の変化が著しい時代であるからこそ、燃料の専門家の力が従来以上に必要になっていると思います。（関西大学社会安全学部 教授 一井 康二）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら

